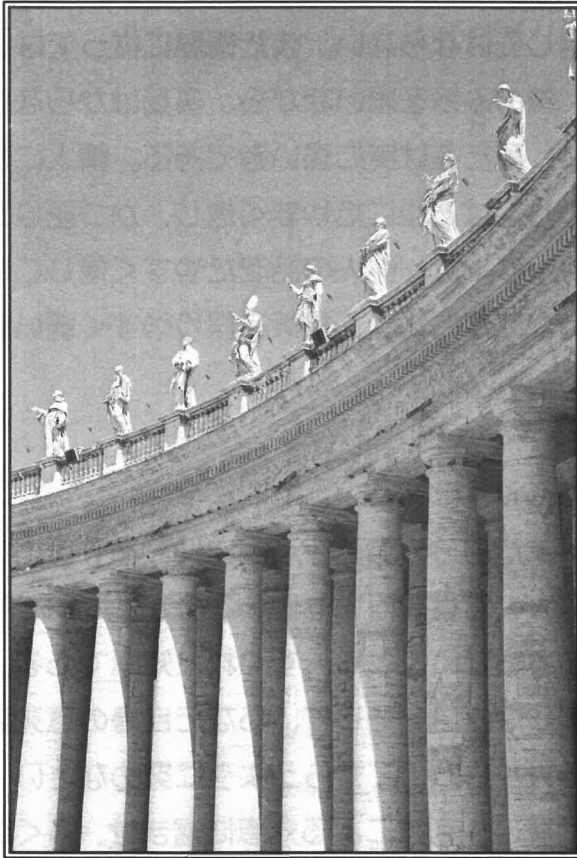


2008年(平成20) 6月

カルメル
霊性センターニュース



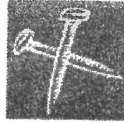
ヴァチカン 回廊

233号

DE IMITATIONE CHRISTI

キリストにならう

—バルバロ訳—



第一巻

第四章 行動は慎重に

1 すべてを信じてはならない

どんな言葉でもたやすく信じてはならない。また衝動に従ってはならない。むしろ慎重に思慮深く、神のみ旨を思いながら、事をはからなければならぬ。ああ悲しいことに、私たちは実に弱い者である。隣人についても、よいことより悪いことの方をはるかにたやすく信じ、かつ語りがちなのである。しかし、完徳を目指す人は、他人の話をたやすく信じこむことがない。なぜなら、人間がいかにも悪に傾き、言葉を誤りやすく弱い者であるかを知っているからである。

2 よい生き方は人を知恵のある者にする

あわてて事をおこなわず、また自分の意見を頑固に押し通そうとしないのは、賢明なことである。他人の言葉を何でも信じこまず、聞いたり信じたりしたことを、すぐ人にもらさないことも、すぐれた知恵である。知恵もあり良心も正しい人に相談しなさい。そして、あなた自身の意見に従うより、あなたより知恵のある人から教えてもらうように努めなさい（トビト書 4・18 参照）。よい生活は、人を神による知恵に富ませ、多くのことに習熟した者とする。心から謙虚になり、神に服従すればするほど、人はすべてにおいて知恵を深め、そして落ち着いてくるであろう。

心の泉



泉の心



幼きイエスのマリー・エウジェンヌ神父 ocd

—現代の十字架の聖ヨハネ—

(18)



預言者と聖人をつくるのは
聖霊、
私たちのうち
生きておられ
キリストという道を
示される 聖霊です
聖霊以外に
聖化の手段はありません

—幼きイエスのマリー・エウジェンヌ ocd

このように述べたとき、マリー・エウジェンヌ師は自分の深い体験を語っていました。聖霊を知り、体験することが師の全生涯の根底にありました。すでにカルメル会の修練期から師は、この愛の霊に強くとらえられ、魅了されていたのです。そのことを彼自身知っていました。そして「聖霊の」思いを実現すため、聖霊に自分のすべてを明け渡し、信仰によって協力することを惜しみませんでした。それは具体的な日々の様々な出来事を通してでした。

聖霊について語らなければ、マリー・エウジェンヌ師の神秘に触れることはできません。

「聖霊は生きて私たちのうちで働いておられる方、私たちはその方を体験しなければならぬ」と師は絶えず語っていました。聖霊に自分を委ねると言うことは決して途方もないことではないのです。

私たちは二人、聖霊と私です。私たちのうちで働かれるのは聖霊です。体験を通して、聖霊が私たちのうちにおられるという確信をもたなければなりませんし、聖霊が他の人々のうちにもおられるというのを思い出さなければなりません。すべてを行われるのは聖霊です。私たちを通し、人々に愛を注がれるのも聖霊です。

こうして私のうちにおられる聖霊との親しさは、日々の生活の中で周りの人々へと浸透していくことになるのです。それゆえ師は繰り返し言っていました、「使徒として生きる私たちは聖霊とより親しく歩みましょう。聖霊はおん父とおん子の霊なのですから」と。

伊従 信子
ノートルダム・ド・ヴィ

『必要なことは、ただ一つだけ』(36)

ルドルフ・デ・スーザ OCD (カルメル会)

振り返りのための問い

- a) 他の人をどのようにあなたは見ていますか。ねたみの目ですか、思いやりの目ですか。プライドの目ですか、憎しみの目ですか。
- b) あなたは神が作られた物を自分とは関係ないという思いで見ていますか。
- c) あなたは自分の体をどのように見ていますか。セックス・シンボルとしてですか、神の聖なる霊の神殿としてですか。
- d) あなたが人々を見る時、あなたの思いはどこへ飛んでゆきますか。それらの人々に対して神への感謝を感じますか、あるいは心に憎しみを覚えますか。
- e) すべての物や出来事や環境の中に神を見出すために、あなたはどのようにあなたの「視力」を訓練していますか。
- f) 主は、「あなたの宝があるところに、あなたの心もある」と言われました。それでは、あなたの宝はどこにありますか。あなたが物を見る時、これらの物は、自分を聖化する手段だと考えていますか。
- g) あなたが自分の周りのみじめな人々を見る時、あなた本当に彼らのために祈っていますか。あなたが障害者や盲人や地面をはっている人を見る時、自分自身に対してどのように感じますか。あなた本当に彼らのために祈っていますか。
- h) あなたのまわりに神の現存を見出すようあなたの目を訓練してください。そうすれば、自分のまわりの世界が、よい意味でのたくさんの驚きをともなって立ち現われてくることでしょう。なぜなら、体のともしびは、目だからです。

目に見えるものへの喜びを、神へと向かうために退けてゆくことに失敗すると、次のような害がただちに生じる。虚栄心、神経散漫、節度のない欲望、わいせつ、内的かつ外的混乱、不純な考えや嫉妬である。(『カルメル山登攀』

Ⅲ, 25, ii)

9. 「耳のある者は聞きなさい」

マタイ 11 : 15

或る時、飛行機でカルカッタからバンガロールへ行きましたが、飛行機の通路で遊んでいる、言うことをきかない小さな子供が私の注意を引きました。その行動に母親はとても困っているのが分かりました。彼がスチュワーデスにぶつかり、つまずいた時、ちょうどスチュワーデスは水を乗客に渡そうとしているところでした。水はこぼれて、坐っている乗客の上にこぼれました。母親は堪忍袋の緒が切れて、子供に怒鳴りました。「サム、遊びたいなら、外へ行って遊びなさい。人に迷惑をかけないで」。母親は、自分の言ったことに注意をはらっていませんでした。子供は答えました。「ママ、僕たちは飛行機の中だよ。外へ出たら、終わりだよ」。これは、私たちがしばしば行っていることです。私たちは、自分自身の言葉に、自分自身の体に、自分に身近な環境に、耳を傾けていないのです。もしそうならば、どうして私たちは、神に耳を傾けるよう、自分自身を目ざますことができるのでしょうか。

聞くことはやさしく、傾聴することは難しいのです。私たちはさまざまなことを聞いていますが、傾聴に注意を向けることはまれです。傾聴は、聞くこととはまったく異なります。これは、イエスが言われたことでもあります。「耳のある者は聞きなさい」(マタ 11:15)。さらにこうも言われています。「私の羊は私の声を聞き分ける。私は彼らを知っており、彼らは私に従う」(ヨハ 10:27)。「み言葉を聞くだけで行わない者がいれば、その人は生まれつきの顔を鏡に映して眺める人に似ています。鏡に映った自分の姿を眺めても、立ち去ると、それがどのようなであったか、すぐに忘れてしまいます」(ヤコ 1:23-24)。神に傾聴してゆくこととは、神の言葉、神の創造された物、神の民、神の靈感、神の意志に耳を傾けてゆくことです。旧約聖書の中でサムエルは、神が呼ばれるのを聞きましたが、主が最初二回読んだ時には、傾聴することができませんでした。それから彼は、ただ聞くのではなく、傾聴しなければならぬと悟り、こうして三回目にこう答えました。「主よ、お話してください。しもべは聴いております」(1サム 3:9)。

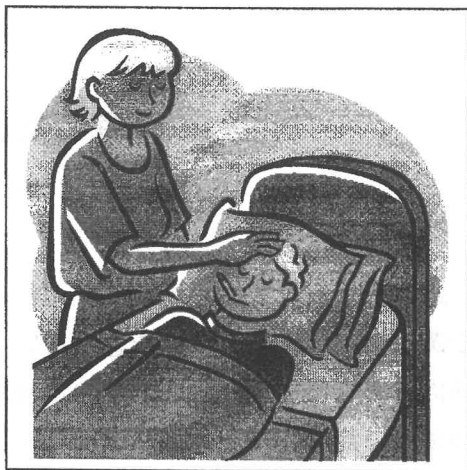
(続)

九里 彰訳

ヘンリ・ナーウェンの

『旅路の糧』

(111)



弱さにおける連帯

喜びは、思いやり (compassion) の中に隠されています。思いやりという言葉は、文字どおりには、「共に苦しむこと」を意味します。他者と共に苦しむことが喜びをもたらすということは、まったく考えられないことのように思われます。しかしながら、苦痛の中にいる人と共にいること、絶望の中にいる人と単純に共にいること、友人と混乱と不確実さの時を共にすることなど、これらの体験は、私たちに深い喜びをもたらすのです。幸福でも興奮でも大きな満足でもなく、誰かのために存在すること、人類家族として兄弟姉妹と深い連帯の内に生きることからくる静かな喜びです。しばしばそれは、弱さにおける連帯、失意落胆における連帯、傷ついた者同士の連帯です。けれどもこの連帯が、他者と人間性を分かち合っているという、喜びの中核へと私たちを導くのです。

(0201)

あらゆるキュア (cure) のもととは、ケア (care)

ケアは、キュア (治療、いやし、救済、解決等の意味) とは別物です。キュアは、「変化」を意味します。医者や弁護士や聖職者やソーシャル・ワーカーなど、彼らは皆、その専門的な技術や能力を使って、人々の生活に変化をもたらそうとします。彼らが行うどのような種類のキュアに対しても、報酬が支払われます。けれども、キュアは、どんなに望ましいものであっても、それがケア (心づかい) から生まれなければ、簡単に力づくとなったり、支配するようになったり、さらには破壊的にもなりうるのです。ケアは、共にいることであり、共に泣くことであり、共に苦しむことであり、共に感じることです。ケアは、思いやり (compassion) なのです。それは、他者が私の兄弟であり、姉妹であり、私と同じようにやがて死んでゆく、傷つきやすい人間であるという真理を主張しています。

ケアが私たちの第一の関心であるならば、キュアは、一つの贈り物として受け取られます。しばしば私たちは、キュアすることができません。でもいつもケアすることは、できるのです。ケアすることは、人間となることです。

(0208)

年間第九主日A マタイ 7, 21-27

「わたしの天の父の御心を行う者だけが（天の国に）入るのである」（マタイ 7, 21）。

今日の福音は、「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである」（マタイ 5, 3）で始まっていた「山上の説教」の締めくくりの部分です。「なによりもまず、神の国と神の義を求めなさい」（マタイ 6, 33）。真剣に「神の国、天の国」に入ろうと求めているかが問われ、そして、「幸いなるかな」とはまったく正反対の断罪の言葉で終わっています。「そのとき、わたしはきっぱりとこう言おう。『あなたたちのことはぜんぜん知らない。不法を働く者ども、わたしから離れされ。』」。幸いな者に約束された天の国からの決定的な追放、最終的な断罪の言葉を聴くことになるのは、どのような人たちなのでしょう。天の国に迎えられるか、あるいは、拒絶されるか、この分水嶺をなすものは、何なのでしょう。それは、イエスの天の父の御心を生きたか、どうかなのです。

この分水嶺の特異的な点を説明するかのように、「御名によって預言し、悪霊を追い出し、奇跡をいろいろ行う」人たちが、「不法を働く者ども」と断罪されています。「御名」とは、イエスにおいてわたしたちの上に働きかける力強い救う権能、つまり「救いをもたらす神（イエスとの名前は、神は救うとの意味）」の最もダイナミックな働きを指しています。この力動の頂点は、イエスの十字架の死による罪人の無償の憐れみからの赦しと再生にあります。預言、悪霊の追い出し、奇跡は、神の力強い救いの本質を正確に指し示すものではなく、むしろ、人間たちの好奇心、熱狂主義、幸福願望などを幻惑し、救いの本質を見誤らせ、神が目指しておられる救いとは異なった方向に導くものとなるのです、もし、より本質的な点を見えなくしているなら。その一点とは何か。それが、まさに、「天の父の御心を行う」こととなります。

「あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の国に入れることができない」（マタイ 5, 20）。律法学者やファリサイ派に勝る義とは、人間が自分の力で獲得し、誇るものではなく、むしろ、罪人であることを認め、痛悔し、赦しを願うことから始まる義です。御父がイエスによってわたしたちに与えようとしておられる赦しが、わたしたちの隅々にまで浸透するままになっていること、そして、新しい命を生き始めさせていただくことではないのでしょうか。 ルカ 渡辺幹夫

年間 第10主日 (A)

わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、
罪びとを招くためである。(マタイ9:9-13)

インドの父であるマハトマ・ガンディは、アンタッチャブルといわれる社会層の人たちに対して独特な心を持っていました。彼はいつもこの人たちを大切にしていました。村に入るとすぐ彼はいつも「アンクッチャブルはどこにいますか？ 私は彼らのところに泊まりたいのです」といいました。ガンディは彼らに触れ、彼らと飲食をともにし、彼らの子どもたちと遊びました。ガンディは彼らの生活を変え、人間としての価値や尊厳に目を開かせました。

本日の福音で、イエスの招きには徴税人や罪びとなど疎外視されている人たちも含まれていることが分かります。イエスの回心への招きはまた、招きに「値する」と認められる人、典礼的に清い人、正しい人や、聖なる人にも及んでいます。「私に従いなさい」というイエスの招きは、愛とあわれみを持つ彼自身の生き方を見ならうために、人生を変えることを意味しています。私たちが招いている神は、他人の善のために新しい自己犠牲となるため私たちの愛とあわれみを求めておられます。ですから、イエスに従うということは、イエスのあわれみを受けとめること、そして他人にあわれみを及ぼすこと、この両方を意味しています。

福音の話は続き、神のあわれみのテーマと普遍的なアプローチへ展開します。使徒たちの一人として徴税人を選んだことで、その職業を軽蔑し、その人を罪びととみなす人もいました。イエスは、どの人への招きも無償のものであること、神の賜物は全くのあわれみからのものであること、誰も罪びとと呼ばれるに値しないことを、劇的に示します。イエスの招きは、その人の聖なることや、高潔さ、或いは道徳的に優れていることなどによっているものではありません。イエスの招きは無償の恵みの賜物なのです。イエスは、貧しい人や、疎外視されている人、見捨てられている人、罪びとをも招いています。社会的に見捨てられている人たちと飲食をともにすることで、礼拝するとは本当はどういうことかを示されます：「私がのぞむのはあわれみであって、犠牲ではない」。真の礼拝は、自分の生活の中に神の愛とあわれみを認めることであり、他人を助けることで言葉や行ないを通してそれを経験します。

イエスに従うことは、私たちの妨げとなっている全ての限界や制限を打ち壊し、イエスの価値に付き従うように歩み出すことを意味しています。イエスの弟子は、自分のひとりよがり、長所、価値などに執着することなく、イエスの価値を取り入れ、聖性に成長していきます。「イエスは資格のある人を招くではありません、招かれた人に資格を与えるのです。」 (Sr. Paulina)

年間第十一主日 A マタイ 9, 36-10, 8

「イエスは、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた」(マタイ9, 36)。

「深く憐れまれた」この単語は、「腸の底から打ち震えられた」、あるいは、「断腸の思い、切ない思いに捕らわれた」と訳されるべきものです。「切ない」とは、「関係を切ってしまうことができれば、どんなに気が楽かも知れない、しかし、切れない」、このような思いです。そして、たとえ、自分自身に大きな犠牲を強いることになっても、新しい関係を自分からは切断しないとの決意となるものです。「女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ、女たちが忘れようとも、私があなただを忘れることは決してない。見よ、私はあなただを、私の手のひらに刻みつける」(イザヤ 49, 15-16)、「エフライムはわたしのかけがえのない息子、喜びを与えてくれる子ではないか。彼を退けるたびに、わたしは更に、彼を深く心に留める。彼のゆえに、胸は高鳴り、わたしは彼を憐れまずにはいられないと、主は言われる」(エレミヤ 31, 20)。これらの旧約聖書の個所に、福音の「深く憐れむ」との言葉の背景があります。

そして、「弟子たちとその派遣」が、この箇所のもう一つの軸であることは明瞭です。しかし、いったい、イエスの弟子とは誰のことでしょう。有名な大学教授の弟子とは意味が違うのです、この場合なら、知識の伝達の線上でしょうし、有名な俳優の弟子であるなら、芸を習得することが中心でしょう。技術者の弟子は、技術を学習するものです。それでは、イエスの弟子とは、誰のことで、どのようにして真実な弟子になってゆくのでしょうか。

イエスの憐れむ愛が、自分が気付くはるか前から自分を包んでいたことに気付かされている人、この憐れみの愛の上に自分の命の基盤を据える決断をしてゆく人、そして、自分の言葉と行動すべてを通してイエスの憐れむ愛が流れてゆくままになっている人、言ってみれば、イエスの憐れむ愛に自分の命の全次元が共鳴させられている人、このような人がイエスの弟子ではないのでしょうか。もし、わたしたちが、癒し、生き返らせ、清くする、そして新しい人と人との出会いの絆を建設してゆく権能に恵まれているのなら、それは、イエスの「切ない愛」がわたしたちを包み、わたしたちを通して流れてゆくからです。「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」。ルカ渡辺幹夫

年間第12主日

「恐れてはならない」 (マタイ 10:26-33)

以前アメリカ合衆国が大不況の真只中であって、至る所に悲惨な状況と物質的な欠乏が見られたとき、時の大統領フランクリン ルーズベルトはその時代を風靡した名言を述べました。「我々が恐れなければならないものはただ一つ、恐れそれそのものである」と。しかし恐れは世の中至る所にあります；仕事についての恐れ、子どもたちの幸せについての恐れ、病気についての恐れ、高齢になったときの保障についての恐れ、そして恐れに対する恐れなどです。キリストに従っていく者にとって最も避けたい恐れは、私たちが天の御父と結んでくださるイエスとの親しい関係、交わりを恐れ、懸念することです。

使徒たちも確かに、当然の恐れを持っていました。彼らはキリストを証しすることによって生ずる恐ろしい結果に立ち向かわなければなりませんでした。今日の福音の中でイエスは律法学者やファリサイ人のずるいやり方をはっきり示し、弟子たちにご自分の望むところを告げておられます。イエスがメシアであると告白した弟子たちの受容は、彼らの奉獻は恐れのない告白である筈です。

ディオゲネスが真理の探究をしたのはキリストの時代よりずっと前になりますから、真理を求める誠実な人を見出すことは困難です。多くの人は真理を好まず、また真理を告げて生ずる結果を懸念します。しかし真理（そのものである神）は勝利を得、私たちの生きている間に、またはその後も、明らかにされていくでしょう。私たちはキリストのメッセージを聴き、これを大声で大胆に恐れることなく言い表さなければなりません。

イエスについての真理全部を、すべての道徳的な事柄も含めて宣言するとき、卓絶した神であり、私たちに内在して居られる神に対しての聖なる恐れを感じます。この類の恐れは神の神聖さに対する畏敬と信頼を伴った敬虔なものでなければならず、卑屈に人を神から遠ざけるものであってはなりません。バランスのとれた正しい恐れは神の内にある信頼で、これは神の三つのペルソナの根底にある真意です。天の御父のご配慮とご保護は全てのもの、大きなものから小さなもの、一羽の雀にさえ及びます。私たち人間に対しての神の思いがどんなに綿密で愛に満ちたものであるか、深く思い巡らしてみたいとおもいます。

(Sr. Paulina)

年間第十三主日A マタイ 10, 37-42

「わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりも息子や娘を愛する者も、わたしにふさわしくない。また、自分の十字架を担ってわたしに従わない者は、わたしにふさわしくない」(マタイ 10, 37-38)。

本日は、聖ペトロ・パウロの殉教を記念しますが、この年間の典礼の福音を心に響かせたいと思います。確かに厳しい要求ではあります。しかし、この要求が何方から言われているかを、見てみる必要があります。この言葉が出たのは、「わたしを愛し、わたしのために身を捧げられた神の子」(ガラテヤ 2, 20)イエスのお口からなのです。このイエスの愛を抜きにして、この御言葉だけを見、聞き、判断するなら、大変厳しく受け入れにくいものを感じるのは当然です。しかし、この言葉は、福音、良い知らせ、喜びへの招きであって、ただの厳しさを要求するものではありません。アンドレ・ジッドの小説『狭き門』の厳格さのように人間らしさを干からびさせてゆくものではなく、むしろ、よりみずみずしいより豊かな人間味に導くものなのです。

福音の底辺にいつも流れている主題の一つは、イエスを通して示された、天の御父のわたしたちへの愛です。この愛がわたしたち人間の想像を遙かに越えるものであることを、全福音は知らせています。パウロは宣言しています、「わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方」(ローマ 8, 32. 参照ローマ 5, 8)、天の御父のわたしたちへの愛を。「わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしくない」との御言葉を、少し変えてこう御父の口に上らせることができないでしょうか。「もし、わたしが、人間たちよりも、自分の一人子を愛し、惜しむなら、それは、わたしにふさわしくない。イエスが福音としてすべての人に啓示するわたしの愛の実像にふさわしくない」と。実に御父の永遠のみことば、人間となった神の独り子が、十字架の死の中でわたしたちに語りかけているものは、この真実です。

イエスの御言葉が直接的に向けられているのは、わたしたちの寛大さ、決断、奮発心ではありません。これらのものの揺れ動かしは、後に続くものです。むしろ、わたしたち罪人のために独り子を見捨てるほどの父である神の愛、福音の新しさにも馴れ合いになってしまっても何も感じなくなっているわたしたちの鈍感さなのです。厳しさのショックが、この眠りこけている心を根底から揺り動かすのです。

ルカ 渡辺幹夫

…ケリトの水にうるあされて…

カルメルの聖人たちの祈り

19. 幼いイエスの聖テレーズ (1873-1897) — その6

テレーズ・マルタンは、フランスのアランソンで、大変愛情深く敬虔な家庭に生まれた。4人の姉のうち3人は、リジュー・カルメル会における修道生活においても姉妹となった。

1888年、15才でカルメル会に入会。正式な修道名は「幼いイエスと尊き面影のテレーズ」であった。テレーズは聖人になりたいと望んでいた。他の聖人たちのように偉大なことはできないと知っていたが、それでも預言者、司祭、宣教師、使徒になって五大陸を駆けめぐりたかったのである。ある日、彼女は自分の使命が教会の心臓の中で愛となることであることに気がつく。彼女が見出した霊的幼子の小さな道には、何でもないような小さなことをイエスに捧げることが含まれていた。彼女は自分自身の弱さそのものをイエスに捧げ、他人に気付かれることも評価されることもない小さな事柄を行う機会を探し、静かに謙遜に奉仕した。テレーズは「神のいつくしみの愛」に身を捧げた。自分が神のあわれみに頼らなければならないこと、神のあわれみは神の正義に勝るものであることを信じていたのである。彼女は神の腕の中にいる子どものように、完全に自分を神に委ねきっていた。結核が重くなってからも、長上への従順によって、自叙伝を書き記した。最も深い信仰の暗夜を体験しながらも、喜びをもって苦しみを受け、1897年に帰天。1925年列聖。1927年、聖フランシスコ・ザビエルと並ぶ宣教の保護者に上げられ、1997年、教会博士の称号を受けた。



幼いイエスの聖テレーズ

— 祈り —

おお、私の神！ 幸いな聖三位よ、私はあなたを愛し、あなたを愛させることを、地上の靈魂を救い、煉獄で苦しんでいる靈魂を解放し、聖なる教会の栄光のために働くことを望んでいます。あなたのご意思を完全に果たし、私のために御国に用意して下さった栄光の高さに達したいと望んでいます。一言で言えば、聖人になりたいのです。でも私は自分の無力を感じますから、あなたにお願いいたします、おお私の神よ！ あなたご自身が私の聖性となってくださることを！

あなたは、御ひとり子を私の救い主、私の花婿として与えてくださるほど、私を愛して下さったのですから、御子のご功德の無限の宝は私のものです。私は、喜びのうちにその宝をあなたにお捧げいたします。イエスさまの面影と愛に燃えるみ心のうちのみ、私をご覧になってくださるよう、願いながら。

(天と地の) 聖人たちのすべての功德と愛の行いを、そして聖なる天使たちのそれをも、お捧げいたします。最後に、おお幸いな聖三位よ！ 私の愛する母であるおとめマリアの愛と功德をお捧げいたします。マリアさまこそ、私の奉獻を委ね、あなたに差し出してくださいよう願う方です。マリアさまからお生まれになった神なる御子、私の愛する花婿は、地上で生きておられた時、私たちに言われました。「あなたがたがわたしの名において父に願うものは何でも、父はあなたがたにお与えになるであろう！」と。ですから、私はあなたが私の望みをかなえてくださると確信しています。おお私の神よ！ あなたは与えたいと思えば思うほど、いっそうそれを私たちに望ませるということ、私は存じております。……

命の夕べに、私は空の手であなたのみ前に出ることでしょう。なぜなら、主よ、私は、自分の業を数えてくださるようには、お願いいたしませんから。私たちの正義は、どれも、あなたの御目から見れば汚れています。ですから私は、あなたご自身の正義をまとわせていただきたいのです。そしてあなたの愛によって、あなたご自身を永遠に所有する恵みをいただきたいのです。……

完全な愛のただ一つの行いのうちに生きることができるよう、あなたのいつくしみ深い愛に私自身を焼き尽くすいけにえとしてお捧げいたします。絶え間なく私を焼き尽くし、あなたのうちに閉じ込められている無限の優しさの波を、私の靈魂にあふれさせてください。こうして、あなたの愛の殉教者になることができますように、おお私の神よ！ ……

おお私の愛するお方、心臓が鼓動することに、数限りなくこの奉獻を新たにすることを望みます。夕闇が去り、永遠に顔と顔を合わせて、あなたに私の愛を申しあげることができるその時まで！

「いつくしみ深い愛への奉獻の祈り (1895年6月9日)」より抜粋

* * * * *

この記事は、跣足カルメル在俗者会員ペニー・ヒッキー氏が編集された Drink of the Stream: Prayers of Carmelites (Ignatius Press, San Francisco, U.S.A., URL <http://www.ignatius.com>) の中から、出版社の許可を得て、抜粋・邦訳したものです。

(注)タイトル中の「ケリトの水」とは、主が預言者エリヤに言われた、「ここを去り、東に向かい、ヨルダンの東にあるケリトの川のほとりに身を隠せ。その川の水を飲むがよい。わたしは鳥に命じて、そこであなたを養わせる(1列17:3-4)」ということばに由来しています。

(豪華カルメル会訳・編)

十字架の聖ヨハネ こぼれ話(15)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

お米

十字架のヨハネは、少ししか食べませんでした。いつもそうだったのですが、トレドの牢獄では、この少ししか食べないことにもほとんど耐えられなくなりました。けれども彼は、健康な者であれ病気の者であれ、どの修道者にも、必要な物が事欠かないようにしていました。聖テレジアが次のように言ったことを実現しながら。

病人はまったき愛と心地よさと同情をもって看護されるべきです。…修院長は、健康な者に必要な物が欠けても、病人には心地よさが欠けないように、よくよく注意しなければなりません。(会憲 23)

けれども、今は病人のことはさておいて、少し「普通でない」或る日の健康な人たちのことに移りましょう。

幸い、グラナダのロス・マルティレス修道院の台所係が、このお米の話を物語ってくれます。このことは、サンホセのホルヘという「レオンの山奥、ボニャール谷の吹き出物と呼ばれている場所の出身で、87年3月の聖母の日にグラナダの上述の市で会の修道服を着衣した修道士」の身に起こりました。彼自身が列福調査の時に証言しています。

それは、その時、修練者兼台所係であった彼に起こりました。彼はそのことを、十字架のヨハネ修士の「落ち着きと謙遜」を裏書きする形で物語っています。

「…この証人がまだ修練者で台所係であった時、或る日、彼はお米の鍋料理を準備しなければなりませんでした。すでに修道士たちは食堂の入口にやってきていた時、彼は火から鍋をおろしに行ったのですが、鍋が上から下まで裂け、お米がこぼれてしまいました。

この時、この証人はひどくうろたえ、途方にくれました。そこに聖なるヨハネ修父が台所に入ってきて、何が起こったかを見、やさしい言葉で彼に言いました。『息子よ、あなたのせいではない。残った食べられる分を分けなさい。主は、今日、私たちがお米を食べることを望んでおられないのだから』。

そしてこう続いています。

「この証人は、彼の当惑に対し、何事も起こらなかったかのようにふるまったヨハネ修士の穏やかさと優しさに気付き、その態度に賛嘆すると共に、大いに慰められたのです」。

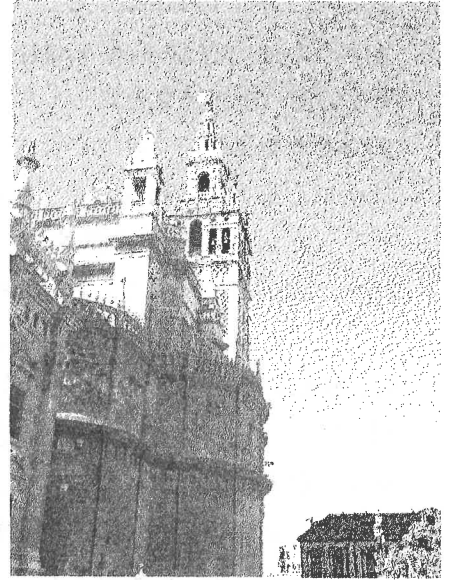
十字架の聖ヨハネの教訓と模範を、ホルヘ修士は、私たちのために残してくれたのです。

(続く)

スペイン紀行（2008年）No.11

（セビーリャ）

スペインの南に広がるアンダルシア地方に、グラナダに並んで大切な大都市が、もう一つある。その町がセビーリャだ。この町は、古くはゲルマン民族の一つ、西ゴート族の首都であり、西暦587年に西ゴート族の王がカトリックに回心して以来、カトリック信仰が普及していったが、ジブラルタル海峡を渡って来たモーロ人に征服(712年)されて以来、今度はイスラム文化が普及するようになる。しかし、カトリックのレコンキスタ（カトリック教徒の奪回）により、13世紀中ごろに、セビーリャは再びカトリック教徒の手に戻る。そのため、この町には、イスラムとキリスト教の文化が色濃く交じり合っている。これに加えて、1492年のアメリカ大陸の発見が、この町に



（セビーリャの象徴、ヒラルダ）

新しい空気を吹き込むことになる。すなわち、スペインのアメリカ大陸の玄関口の町になったのである。文化としては、イスラム、カトリック、アメリカ大陸の文化が交じり合い、また、古くからイベリア半島に住んでいたユダヤ人文化も交じり合った独特の文化を持った町でもある。

この町にアヴィラの聖テレジアが女子カルメル修道院の創立のために入ったのが、1575年5月26日である。アンダルシア州のベアスという町から来たのであるが、ベアスにいる間に、アンダルシア州のカルメル会全体の教皇視察使として選ばれていた跣足カルメル会士のグラシアン神父と出会い、このセビーリャの創立の使命を担っていたからであった。もともとテレジアは、マドリッドに創立をしたかったのであるが、従順の下に、この創立に着手したのであった。ここの創立のために、テレジアは思ったより困難さがあったため、1576年6月3日までセビーリャに滞在した。

十字架の聖ヨハネは、彼がアンダルシア地方の管区長代理として任務を引き受けていた時期に（1585年～1587年）、このセビーリャを訪れている。その際、テレジアが創立した修道院の場所から、現在、存在する修道院の場所に移したのが、十字架の聖ヨハネであった。

このセビーリャも両聖人の思い出が残っている場所でもある。

（Fr.松田浩一 OCD）

ほうれん草^{こな}の粉

私がまだ小学3、4年の頃だったと思います。土曜日は学校は早帰りでしたが、帰宅した時決まって母に聞くセリフは、“お父さんから電話きた？”という質問でした。というのは、父は当時毎土曜日とっていい程、会社が退けた後で家族を都心に呼び寄せ、皆一緒に昼食を楽しんだ後で、有楽町のある映画館に入り、子供向きのニュースや漫画を見せてくれていたのです。ですから私達子供にとっては、電話は、天から降ってくる一種の福音のようなものでした。ポパイといえば、大抵の方はすぐお分かりでしょうが、当時の子供達にとっては、ほんとうになじみ深い漫画の主人公でした。ポパイは怪力の水兵で、いつも青いベレー帽とセーラー服を着用し、筋骨隆々、常に口に大きなパイプをくわえ、腕には錨^{かか}の入れ墨をしていました。その腕で舟を操る時、映画に歌が流れます。“ポパイ セーラマン、ポッポー (Popeye Sailor Man, ポッポー) という楽しい歌が何度となく流れてくる中を、彼は上を向き、顔一杯広がるような大きな袋を口に当てて、袋の粉を一杯ほうり込むのです。すると、ただでさえ頑丈に見えるポパイの筋肉と骨格が、忽ちリュウリュウと盛り上がり始め、見るからに“海の大男”に変身するのです。“フーン”と子供たちが喜びと驚きの声を発していると、父は“アレはほうれん草の粉なんだよ、アレを呑むと物凄いエネルギーや力が湧いてくる。アメリカの薬の会社が、ほうれん草の粉の威力を宣伝しているんだよ。”と説明してくれました。“フーン、こんなに効き目が早いワケ？……” 子供の私は、それにひどく感動したものでした。あれから半世紀以上も経過しましたが、その後、私はキリスト者となり、しかも修道者にまでさせていただいたのです。人生の斜陽に向う昨今、フッと思い出したのがこの“ポパイのほうれん草の粉”でした。「今の私にとってほうれん草の粉は何なのか」。考えるまでもなくそれは“キリストのおん体、ご聖体”です。ご聖体をいただいてポパイのように筋骨リュウリュウではなく、心はどうでしょうか？隣人を愛の^{こころ}懐をもって見ることが出来、必要な助けを実行しているのでしょうか。ときには弱者に出会うと、頭の働きのささやきかけます。「これ位のことは自分で出来るハズ」とか「私だって忙しいんだから」とか結構自分の理屈が先行して、愛のエネルギーが湧いてこない。つまり「ほうれん草の粉」ならぬご聖体が心で生きていないのです。自分の仕事はやり遂げたとしても、他人の置かれた窮地が全然推察できないとか。ご聖体をいただくとは、ご聖体を自分の血肉として、キリストが生きられたように、私自身がそれを全身で受け止め、外部に愛のエネルギーとして放射しなければ、パンになられた神人イエス・キリストは大いに悲しまれることでしょう。ご聖体は、体と心全体を動かす愛のエネルギーともいえるものだと思います。

お告げのフランシスコ姉妹会 Sr. 熊田 照子

先日のこと、テレビで「昭和の記憶」というのが「昭和の名曲」というのか、そのような主題で、当時のニュース映像と当時のヒット歌謡曲を組み合わせて昭和をふり返る番組をやっていました。私は何気なく目を向けていたのですが、或るひとつの映像が映し出された時、思わず画面にくぎづけになりました。

もう三十年以上も前のことになりますが、ご記憶でしょうか。日本中を震撼とさせたロッキード事件というのがありました。航空機の売買に関しての汚職事件で、元内閣総理大臣の田中角栄が逮捕されたのです。周知のことですが、田中元総理は日中国交回復などの功績高く、不世出の政治家とも云われた人です。テレビは、このロッキード事件に触れ、当時のニュース映像を流していました。私は1976年の夏、田中逮捕の当日に否応なく引き戻されました。この時のまるでお祭り騒ぎようなテレビニュースを、今でも鮮明に覚えています。

号外が出され、ビルの窓には横断幕が掲げられ、人々は熱狂して叫び合い、それはビッグニュースを伝えるというよりは、群集の狂喜乱舞のさまであり、私は息を呑み、慄然として立ちすくむ思いでした。何か言い表しようのないショックを受けたのです。

新聞各社は、この日この時に一般国民の声を受け付ける電話番号を、特別に設置していました。私はどうしようもない、いたたまれなさに押される気持ちのまま、その電話番号をまわしました。何を云いたいのかよく整理も出来ていなかったと思います。しかし、当然とはいえ電話は一杯で繋がりませんでした。いくら待ってもだめでした。そこで電話は諦めて、投書することにしたのです。今にして思えば若気の至りでもありましたが、自分の受けた衝撃を綴り、一人の人の逮捕をこれ程までに熱狂して騒ぎたて、万歳を叫ぶという異様なことへの違和感、不安感、苦しいような気持ちを訴えました。

社会正義は必要不可欠な大切なものであり、これなくしては私たちは生きられないけれど、それにしてもこのありさまは何故？

『先ずは罪のない者から この女に石を投げつけよ』という思いは誰の心の内にも必ず存在している筈なのだ、一寸だけでいい静かに・・・と焦りとも悲嘆ともいえる気持ちを書いて投函しました。

私はこのことを友人に話しました。じっと耳を傾けていた友人は次のよ

うに云ったのです。

「あなたの投書を読んで、真面目に自らを顧みたり会社の会議にとりあげたりする人は、きっと出世なんかしないと思うよ。でもね、読んだ人が家に帰って夕食の時、自分の奥さんに投書のこと話すかも知れないよねえ あなたはそれで十分じゃない？それでいいのよ。それがあなたの役目ってもんじゃないの？それにね、奥さんにも話さないかも知れないのよ。そりゃあわたしだってせめて奥さんぐらいには話してほしいと願うけどさ・・保証なんかないよ。」

どう云ったらいいのでしょうか。友人の言葉は言い得て妙という以上に、天啓にも似て私の全身に響き渡ったのです。

私はあらためて大きく頷きながら、しっかりと身の程を確かめたのでした。

そして、三十年以上過ぎた今、私は新たに「夕食の時、妻に ——」を考えます。その時の投書の内容というより、一人の人と繋がっていることの一身を超える幸いについてです。相手は妻と限る事はありません。

一人の人に向って、規制もなく、防備もなく吐露される声は、たわいの無い気楽なお喋りであったとしても、云ってみればその人の本当のもの、すこやかで、のびやかで、生命の力と自由とを宿したことばであるといえないでしょうか。そのような人との関係、人との時間、人との場所をもつことの幸いは当事者個人の枠にとどまらず、全ての人間にとっての幸いであり、世界にとっての幸いなのだと思えるのです。

会議室における会話も、人間として欠くべからざるものであり、大きく私たちの世界を動かし創り上げていくのだといえます。しかし、会議室とはもしかしたら反対のことが言われるかもしれない「夕食の時、妻に ——」語られることばも、この世界を動かし創り上げていくものであるのだと、深く深く思うのです。たとえ両者が矛盾であったとしても、ひとつの身の内であることを引き受けることであるのでしょう。

苦しみの中に産み出される知恵を、私は何よりも大切に思っています。

「夕食の時、妻に ——」トレンディな小説か映画の題名のようにもありますが、この関係、この時間、この場所がこの世界にたくさんたくさん存在することを祈ってやみません。

こころを奏でて—美しきものの詩^{うた}

「海よりも」

恋しい、懐かしい、私達の神さま

遠い海を想うように、あなたを想います
あなたは、寄せては返す波のように
何度も、何度でも
私達にささやきかけてくださる

「あなたを、愛している」と

海よりも広いあなたの心の中を
私達は、「信じる」と書いた帆を張って
航海を続けるのです

果てしなく広いあなたの胸の中にある筈なのに
そのことをうっかり忘れてしまいます
あまりに広すぎるから・・・
まるで置き去りにされた迷子の子供のような孤独を
私達は、日々、味わうのです

でも、波立つ水底で
静かにあなたは語られます

「あなたを愛している」と

海よりも深いあなたの愛は
私達に、嵐の中の航海の恐ろしささえも忘れさせてくださいます

それでも、あなたの愛のあまりの深さに
時々、光の届かない深海にいるような恐ろしさを味わうのです
何処までも、何処までも、私達は沈んで
そして
気を失ってしまうのです

でも、あなたは、波で、私達を深いところからすくい上げて
あなたの愛の浜辺に休ませてくださいます

気がつくと
聴こえるのは
寄せては返す波の音

手には、貝殻を握っています
耳に当てると確かに聴こえます

「あなたを愛している」と

海よりも広く
海よりも深く
海よりも優しく
海よりも激しく
海よりも長い年月・・・永遠の永遠に

「あなたを愛している」と繰り返すあなたの御声

神さま、私達も、あなたを愛せますように
海よりも・・・

丸山 知佳子

いのちの言葉 5月

主の霊のおられるところに自由があります。 (二コリント 3・17)

コリントの信徒への手紙は、使徒パウロが、特に愛情をかけていたコリントのキリスト者たちに向けて書いたものです。西暦50年から52年にかけて、パウロ自身が二年間彼らと共に生活し、神のみ言葉を種まき、キリスト者共同体の基盤を据えました。パウロは、コリントの共同体を生み出した父親¹だったと言えるでしょう。

しかし数年後、彼が再びコリントを訪れた際、ある人々が、公衆の面前で、パウロの使徒としての権威を失墜させるような言動をとったことがありました。これはパウロにとって、自らの任務の重要性を改めて主張する機会になりました。彼は、自分の思いからでなく、神からの促しを受けて、福音を告げ知らせたのです。聖霊が、イエスの生涯に照らして、神のみ言葉をパウロに示されたので、彼はみ言葉のすべてをはっきり理解できました。それゆえ彼は、まったく自由に、み言葉を実践し、告げ知らせることができたのです。パウロはみ言葉を通して、主イエスとの交わりに迎え入れられ、イエスへと変えられていき、主の霊、自由の霊に導かれて生きる者となったのです。

主の霊のおられるところに自由があります。

復活された主イエスは、パウロの時代と同様こんにちも、歴史の中、特にキリ

スト者共同体の中で、働き続けておられます。福音のもたらす新しいものをすべて、私たちに理解させ、生活の規範として福音を私たちの心に記してくださいませ。

私たちは、外から押し付けられた規則に従うわけではなく、納得も同意もできない命令に奴隷のように服従するわけでもありません。

キリスト者は、洗礼を通して聖霊から受けた内面的原則に従って生きる人、聖霊の声に従って生きる人です。聖霊は、イエスのみ言葉をくりかえし私たちに語ってくださいませ。み言葉は命と喜びにあふれる素晴らしいものであることを、わからせてくださいませ。今の時代のみ言葉をどう生きればよいか教え、実行に移すための力を私たちに与えてくださいませ。

聖霊のおかげで、私たちの内に主イエスが生きてくださり、私たちを生きた福音にしてくださいませ。

主とその霊、み言葉に導かれて生きること、これこそ真の自由であり、最も深い自己実現でもあります。

主の霊のおられるところに自由があります。

しかし聖霊に働いていただくには、私たちが心を開いてその声によく耳を傾け、自分の考えを変える必要もあるでしょう。こうして私たちは、聖霊の声に完全に応えることができます。

¹ 一コリント 3・6-10、4・15 参照

社会の風俗や考えは、人を誤った選択に導きかねませんが、私たちは簡単にその圧力の奴隷になってしまいます。

では、今月のいのちの言葉を生きるにはどうすればいいのでしょうか。福音に逆行する行動への誘惑を感じ、心の中に良くないものが生まれる時はいつも、私たちは「いいえ」とはっきり拒否する必要がありますでしょう。そして、真理と愛の中で生きるよう、神から招かれるのを感じる時にはいつも、確信をもって「はい」と答えましょう。

やがて私たちは、「十字架」と「聖霊」は、「原因」と「実り」の関係にあることを発見するでしょう。私たちが執着を断ち、自分のエゴを拒否する時、それは、新たな光と平和、喜びと愛、心の平安と自己実現を生み出す源となります。聖霊に向かって扉を開くことになるからです。

今月、聖霊降臨を迎える私たちに、聖霊はご自分の賜物をより豊かに与えながら、私たちを導いてくださるでしょう。「真の神の子」として、私たちがますます悪から自由になり、いっそう愛する自由を得るでしょう。

主の霊のおられるところに自由があります。

この自由を味わった一人の男性の経験をご紹介します。国連の職員であった彼が、バルカン半島の一国で働いていた時のことです。課された仕事は、満足感を得られても非常に大変なもので、長い期間家族と離れて生活する、という大きな困難が伴いました。家に戻れる時も、仕事の重荷を脇に置いて、自由な心で妻や子供たちと接することは、決して易しくありませんでした。

ある日、突然、県内の別の町に移動が決まりましたが、家族を連れて行くことは考えられませんでした。その国では、平和調印が行われたばかりで、危険な状態は続いていたからです。「どうすべき

か」「仕事と家族と、どちらが大事か」と彼は考えました。彼はしばらく前から妻と共に、キリスト者として真剣に生きる生活を選んでおり、二人は長い時間をかけて話し合いました。聖霊の光を願い、自分たちの家庭に対する神のみ旨を理解するよう努めました。最終的にくださった決断は、仕事をやめることでした。その選択は、彼の職種ではほとんど見られないことでした。彼は次のように語っています。「妻との相互愛から、この決心をするための力が生まれました。妻は、私が彼女にかけていた苦勞への思いをいっさい見せませんでしたし、私は家族の善を考え、経済的安定と出世の道を超えたところに心の自由を見出したのです。」

キアラ・ルービック

★ いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

その日はとても仕事が多く、同僚は皆大変そうでした。私は少し体調が悪く、早く仕事を終わらせて家に帰ろうと思い、自分の仕事に専念しようと思っていましたが、ふと顔を上げると、前の方で仕事をしている先輩の後姿が、十字架を背負っているイエス様のように見えたのです。「私だって体調が悪いのだから」と、一度はその姿を打ち消しましたが、心の中で「もし本当にイエス様がお前の助けを必要としていても、見ないふりをするのか」という思いが湧いてきました。次の瞬間、自分でも不思議なことに、私はその先輩の方に行って、「僕が応援します」と言い、手伝うことになりました。たしかに仕事が増えたので、その分、体はきつくなりましたが、心は燃えてきて力が湧き、結果的にはスムーズに仕事も進みました。(沖縄 M・T)

連絡先

フォコラーレ : 03-3707-4018/03-5370-6424

E-mail:tokyofocfem@ybb.ne.jp

ホームページ :

<http://www.geocities.jp/focolarejapan/focolaresito>

カルメル会の企画案内



内案画金の会々々々



上野毛靈性センター '08年5月～'09年3月

黙想企画 ** 聖テレジア修道院(黙想) **

1. 一泊聖書深読 (毎回土曜日 夕食～日曜日16時)

5月24日～25日	大瀬高司 神父	了
7月26日～27日	//	
11月29日～30日	//	
09/ 1月24日～25日	//	

2. 奉獻生活者のための黙想会

A	8月 5日 (火) 夕食～	8月14日 (木) 朝	九里 彰神父	
B	8月18日 (月) 夕食～	8月27日 (水) 朝	渡辺幹夫神父	
C	11月 8日 (土) 夕食～	11月17日 (月) 朝	松田浩一神父	
D	12月26日 (金) 夕食～	09/1月4日 (日) 朝	中川博道神父	

3. 木曜黙想会 一般黙想 (毎回木曜日 10時～16時)

6月 5日	今泉 健神父
9月 4日	今泉 健神父
11月 6日	松田浩一神父
09/ 1月 8日	松田浩一神父
3月12日	中川博道神父

4. 金曜黙想会 カルメルの聖人 (毎回金曜日 10時～16時)

5月 9日	ベルナルド神父	了
10月10日	松田浩一神父	
12月12日	松田浩一神父	
09/ 2月13日	ベルナルド神父	

5. 一般黙想会 (毎回土曜日 夕食～日曜日16時)

6月21日～22日	未定
10月25日～26日	松田浩一神父
09/ 2月 7日～ 8日	未定

東京

6. 青年黙想会（男女） カルメル会士 神学生
10月 4日（土）～ 5日（日） 15時受付

7. 召命黙想会（男女） カルメル会士
6月28日（土）～29日（日）・・・15時受付
11月22日（土）20時～24日（月）・・・（22日は夕食を済ませてご参加ください）

8. 祭日のミサに与かるために
【クリスマス】・・・チェックイン午後3時、チェックアウト午前10時
12月24日（水）～25日（木）《講話なし、夕食なし》

9. 特別黙想会 “私は神をみたい” シリーズ 伊従信子NDV
了 5月16日（金）20時～18日（日）16時（16日は夕食を済ませてご参加ください）
「私は神をみたい」・・・マリア
10月11日（土）20時～13日（月）16時（11日は夕食を済ませてご参加ください）
「私は神をみたい」・・・イエスの渇き

10. 待降節黙想会 中川博道神父
12月5日（金）20時～7日（日）16時（5日は夕食を済ませてご参加ください）

11. 四旬節黙想会 松田浩一神父
09/ 3月6日（金）20時～8日（日）16時（5日は夕食を済ませてご参加ください）

電話でのお問い合わせは午前9時から午後4時45分までをお願いします。
またお申し込みは電話でもお受けしますが、間違いを避け、時間も問いませんので
なるべくFAX・はがき・Eメールでお願い致します（お返事はいたします）

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

聖テレジア修道院（黙想）

TEL 03-5706-7355

FAX 03-3704-1764

E-mail:mokusou@carmel-monastery.jp

C.Y.C. (カルメル・ユース・クラブ)

キリスト者青年の集い

パウロとテレジア (アヴィラ)

聖女と使徒たちは、イエスとの深い出会いを生きた人たちでした。
私たちがイエスとの個人的な出会いに招かれ、この世界に遣わされています。。。

日 時 : 6月29日 (日) 14:30 ~ 17:30頃

対 象 : 18歳以上 35歳までの 青年男女

スタッフ : カルメル会 中川博道神父・神学生

場 所 : 上野毛教会 信徒会館25号室

東急大井町線 上野毛駅下車 徒歩7分

(世田谷区上野毛2-14-25)

プログラム

- 14:00 ~ 受付開始
- 14:30 ~ 講話・分かち合い
- 16:30 ~ 聖体礼拝と晩の祈り
- 17:30頃 解散 (終了後、面談可。)



※申込不要。お問合せは、FAXかE-mailで住所、氏名、年齢をお書きの上、下記まで。
※各種のご案内は、ホームページからご覧いただけます。 <http://www4.ocn.ne.jp/~carmel/>

カルメル会 カルメル・ユース・クラブ (C.Y.C.) 係 (神学生: 古川)

[Fax] 03-3704-1764 [E-mail] tokyo@carmel-monastery.jp

聖書深読黙想会

〈一泊〉

聖書は、いろいろな方法で読むことができます。
指定された主のみ言葉を、幾人かと共に読み、それを互いに分かち合います。
聖霊の照らしを受けながら、自分に語られる主のみ言葉を深く味わい、共に交
わる人々と、お互いに心を養う機会としましょう。神と人に心を開くことは、
福音を生きることです。皆様のご参加をお待ちしています。

- * 日時：2008年7月26日（土）18時～27日（日）16時
- * 場所：カルメル会聖テレジア修道院黙想・黙想の家
- * 指導：大瀬高司師（カルメル会司祭）
- * 会費：¥7000
- * 持ち物：筆記用具、洗面用具、パジャマ

（タオル、バスタオルは、各部屋に備えあります）

聖書、祈りの本は、黙想の家にあります。

参考書：「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎著 ¥1050）

ご希望の方は、黙想の家でお求め下さい。



お問合せ・お申込は、TEL. FAX、ハガキにてお願いします。

〒158-0093 世田谷区上野毛 2-14-25

カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

Tel.03-5706-7355

Fax.03-3704-1764

‘08年6月～12月まで 黙想会案内 (宇治カルメル会)

宇治聖テレジア修道院(黙想)

1. 聖書深読

一泊二日 (午後5時～午後4時)

5月17日(土)～18日(日)	渡辺幹夫神父 了
7月 5日(土)～ 6日(日)	新井延和神父
9月20日(土)～21日(日)	渡辺幹夫神父
11月 8日(土)～ 9日(日)	中川博道神父

1日 (午前10時から午後4時)

6月21日(土)	新井延和神父
10月 4日(土)	畠 基幸神父
12月13日(土)	新井延和神父

2. 水曜黙想 (午前10時～午後4時)

5月28日 聖霊の賜物	長岡幸一神父 了
6月11日 ご聖体	ベルナルド神父
7月23日 カルメルの祈り	新井延和神父
9月10日 神との親しさ	中川博道神父
10月 8日 アヴィラの聖テレジア	sr.パウリーナ
11月19日 三位一体のエリザベット	ベルナルド神父
12月17日 十字架の聖ヨハネ	渡辺幹夫神父

3. 待降節黙想 (午後5時～午後4時)

12月6日(土)～7日(日)	新井延和神父
----------------	--------

4. 聖テレーズの黙想 (午後5時～午後4時)

9月30日(火)～10月1日(水)	伊従信子 (NDV)
-------------------	------------

5. 奉献生活者のための黙想（午後5時～午前9時）

8月 2日（土）～11日（月）	渡辺幹夫神父
8月18日（月）～27日（水）	中川博道神父
10月18日（土）～27日（月）	渡辺幹夫神父
12月27日（土）～1月5日（月）	新井延和神父

6. 青年のための黙想会・男女（午前10時～午後5時）

11月2日（日） カルメル宣教修道女会、渡辺幹夫神父

.....

その他皆様が企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

*申し込み方法

電話でも受け付けておりますが、できるだけFAXあるいはハガキでお名前と連絡先をご記入の上お申し込みください。なお、お電話でお申し込みの場合、なるべく午前9時～午後5時の間にお願いいたします。受付が休みになっている時はすぐに返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

宇治カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）
〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
TEL 0774-32-7016
FAX 0774-32-7457

「立ちどまって、ひとりになって、聴いてみよう！」

～都会の中の一泊静修～（2008）

この会は、現代の忙しい社会の中にあつて、また都会の中にあつて、神様との静かなひとときを過ごすために企画しました。イエス様は、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる。」（マタイ28：20）と言われました。

ともにいるイエス様とのひとときを、都会の真ん中で過ごしてみたいかでしょうか。

今年は、年間共通テーマとして、「祈りを生きる～主よ、私たちに祈ることを教えてください～」としました。

このテーマを通して、魂の呼吸であるといわれる祈りを、日々の神様との出会いの中で、主のみ前に自分をおき、静かに主のみ声に耳を傾け、主と語り、主を生きる喜び、恵み、愛を思い巡らしながら、神様と交わりをより深めていく事ができるたらと願っています。

第1回	1月14日(月) *祝	日常の祈りの心、形、方法	中川博道神父(カルメル会本部)
第2回	2月16日(土)	イエスは祈られた	ベルナルド神父(宇治修道院)
第3回	3月15日(土)	苦しみの時の祈り	新井延和神父(宇治修道院)
第4回	4月12日(土)	賛美と感謝の祈り～ミサ～	今泉健神父(上野毛修道院)
第5回	5月24日(土)	ロザリオの祈り	渡辺幹夫神父(宇治修道院)
第6回	6月14日(土)	主の祈り	新井延和神父(宇治修道院)
第7回	7月21日(月) *祝	聖エリアの祈り	中川博道神父(カルメル会本部)
第8回	9月27日(土)	幼いイエスの聖テレジアと祈り	未定
第9回	10月13日(月) *祝	アヴィラの聖テレジアと祈り	Sr.パウリーナ(宣教カルメル修道女会)
第10回	11月22日(土)	十字架の聖ヨハネと祈り	九里彰神父(上野毛修道院)

了
了
了
了
了

* 時間 AM10:00～PM4:00

* 場所 カトリック日比野教会(地下鉄・名城線日比野下車徒歩約5分) *聖テレジア幼稚園隣接

* 駐車場は利用できません。

* 費用 1,000円

* 持ってくるもの 聖書、筆記用具、ロザリオ、弁当

* 定員 約20名

* プログラム
 10:00～ 祈り
 10:40～ 講話【1】
 12:00～12:45 昼食
 12:50～ 赦しの秘跡または短い面接
 13:30～ 講話【2】
 14:45～ ミサ
 15:30～ 茶話会
 16:00～ 終了

☆ 空いている時間に、赦しの秘跡または短い面接を受けることができます。

申し込みは、下記の住所へVガキかFAXで、氏名・住所・TEL を記載の上、開催日の3日前までに必着のこと。なお、日比野教会で葬式などがある場合は、中止となりますので、ご了承下さい。

☆ 名古屋カルメル霊性センター一日静修係

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝4-5-17カルメル会日比野修道院 FAX 052-671-1825

または、〒465-0058 名古屋市名東区貴船3-2115 小林厚 TEL/FAX 052-701-3685

聖書深読センターのご案内

- 1 東 京・・・上野毛聖テレジア修道院（黙想）の案内をご覧ください。
- 2 宇 治・・・宇治聖テレジア修道院（黙想）の案内をご覧ください。

聖書深読会ご案内 2008 年度

日曜日の福音を、読み、味わい、分かち合い、解読で学んで
福音を心に刻みます。どなたでも、自由にご参加ください。

1. 5月31日（土） 畠 基幸神父
2. 7月19日（土） 新井延和神父
3. 9月13日（土） 新井延和神父

場所；唐崎黙想の家（ノートルダム教育修道女会）

費用；1, 500円（昼食代含む）

時間；午前10：00～午後4：00

住所；〒520-0106 滋賀県大津市唐崎 1-3-1

TEL 077-579-7560

交通；JR京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車

琵琶湖の方へ徒歩 約13分

申し込み・問い合わせ；TEL 075-724-0771

FAX 075-724-0772

Sr.福島まで

各回、お申し込みは前日までに

電話、ファックス、または葉書にてお願いします。

通信深読について

通信深読は、現在何箇所かで行われているようです。そのうち2箇所が新たに参加可能なので、紹介します。

1 朝日カルチャーセンターの通信講座

参加者は、「個人素読」（記号、全、所感、近況報告などを書くB5用紙）を提出。講師のコメントが記入されて返送される。参加者全員の「個人素読」と「素読表」そして解読が冊子になって送られる。

費用：6ヶ月 17,900円（4、7、10、1月に納入） 継続の場合は 15,950円

講師：九里彰師（奇数月） 新井延和師（偶数月）

問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル

私書箱 21号 朝日カルチャーセンター通信講座部

電話 03-3344-2527（直通）

2 ミニ深読

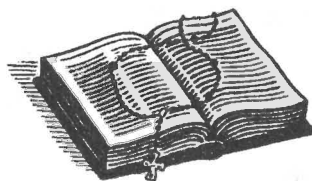
グループで2、3時間かけて聖書深読法の一部を行います。

聖書深読黙想会に参加経験のある方に限ります。

遠方に、参加希望者が多数いる場合には、有光、またはSrパウリーナが指導に行くことも可能です。

問い合わせは「聖書深読センター」事務局 Srパウリーナまでご連絡下さい。

◎ 聖書深読に関してご質問のある方は、下記聖書深読センターにお問い合わせ下さい。



聖書深読センター

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

所長：奥村一郎神父 事務局長：新井延和神父 連絡先：Srパウリーナ

TEL 0774-32-7016 FAX 0774-38-2543

Eメール carmis@mbox.kyoto-inet.or.jp

カルメル会出版物のご案内

雑誌「カルメル」No. 327 (2007年冬号)「今日の靈性」

- * 聖霊の光のもとに 一教父たちの教えと生き方(8) …高橋正行
- * 【靈的講話】存在の根底に立ち返る(続) …中川博道
- * 十字架の聖ヨハネ講話 (9) …フェデリコ・ルイス
アヴィラの聖テレジアのとらえた「謙遜」の意味(7) …九里 彰
愛で生きる(7) …ペトロ・アロイジオ
- エリザベットの「魂のこだま」、ギット(4) 一妹への最後のことば …伊従信子
カルメルの馨り(11) 花咲くぶどうの樹 ～在俗者会と男子会員～ …大瀬高司
幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師(19)
一日々の生活で信仰を生きる …伊従信子
- * リジューの聖テレーズとペトロ岐部
一本質を見定めることの大切さ …谷口正子
愛の断章(6) …奥村一郎

雑誌「カルメル」No. 328 (2008年春号)「今日の靈性」

- * 聖霊の光のもとに 一教父たちの教えと生き方(9) …高橋正行
- * 「イエスに香油を注いだ女」マルコ 14:3～9 …九里 彰
- * 司祭職、それはわたしにとってすべてである …J・マッカーフリー
- * 十字架の聖ヨハネ講話 (10) …フェデリコ・ルイス
愛で生きる(8) …ペトロ・アロイジオ
- エリザベットの「魂のこだま」、ギット(5) 一試練の中で …伊従信子
カルメルの馨り(12) 馨るカルメルの花
～今を生きる者たちへ～ …大瀬高司
幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師(20) 一平凡な生活 …伊従信子
- * 1500キロを歩く …森 みさ
愛の断章(7) …奥村一郎

※ 雑誌「カルメル」はどなたでもご購入できます。ご希望の方は、年会費(年5冊:春夏秋冬号+特集号、送料込み)として、3000円を下記へお振込みください。

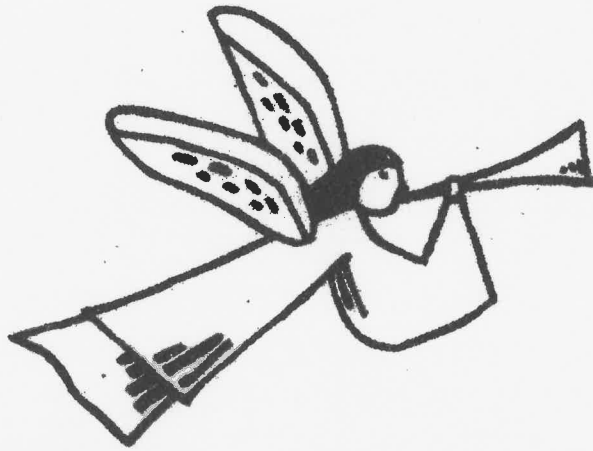
郵便振替: 00190-4-195457 跣足カルメル修道会

(お問い合わせは、事務担当竹田まで。TEL(03)5706-8356)

待望の再販

『自叙伝』(サンパウロ社)、『創立史』『完徳の道』『靈魂の城』(ドン・ボスコ社)

諸所の企画案内



心のいほり

真命山靈性交流センター

リーゼンフーバー神父キリスト教講座

コングレガシオン・ド・ノートルダム

ノートルダム・ド・ヴィ

ノートルダム教育修道女会

フォコラーレ

内観黙想の予定表

先の予定表と若干変わっていますので、開始の曜日や時間などにご注意下さい。

◎参加費用は、6泊7日ですべてを含み6万円です。

◎ファックス・手紙でセンターに問い合わせて下さい。電話では取次いでおりません。
申し込みは会場予約準備がありますので、10日前までに完了をお願いします。

◎〒572-0001大阪府寝屋川市成田東町3-27「心のいほり 内観瞑想センター」
藤原神父 FAX 072・802・5026

予約の決まった後に、会場までの詳しい地図などの書類をお送りします。

★2008年度★

了	P1	08・01・11 (金)	2時から	01・17 (木)	2時まで	兵庫・売布・女子ご受難会
了	K1	08・01・27 (日)	2時から	02・02 (土)	2時まで	東京・小金井・聖霊会
了	Y1	08・02・10 (日)	2時から	02・16 (土)	2時まで	神戸・須磨・ヨハネ
了	P2	08・03・10 (月)	2時から	03・16 (日)	2時まで	兵庫・売布・女子ご受難会
了	K2	08・04・13 (日)	2時から	04・19 (土)	2時まで	東京・小金井・聖霊会
了	M1	08・05・25 (日)	2時から	05・31 (土)	2時まで	盛岡・白百合
	K3	08・06・01 (日)	2時から	06・07 (土)	2時まで	東京・小金井・聖霊会
	N1	08・06・24 (土)	2時から	06・30 (月)	2時まで	滋賀・唐崎・ノートルダム
	Y2	08・07・22 (火)	2時から	07・28 (月)	2時まで	神戸・須磨・ヨハネ
	H1	08・08・18 (月)	2時から	08・24 (日)	2時まで	姫路仁豊野・マリア
	P3	08・09・13 (土)	2時から	09・19 (金)	2時まで	兵庫・売布・女子ご受難会
	K4	08・09・28 (日)	2時から	10・04 (土)	2時まで	東京・小金井・聖霊会
	Y3	08・10・07 (火)	2時から	10・13 (月)	2時まで	神戸・須磨・ヨハネ
	N2	08・11・04 (火)	2時から	11・10 (月)	2時まで	滋賀・唐崎・ノートルダム
	P4	08・11・30 (日)	2時から	12・06 (土)	2時まで	兵庫・売布・女子ご受難会
	K5	08・12・09 (火)	2時から	12・15 (月)	2時まで	東京・小金井・聖霊会

◆三内観のご案内◆

★滋賀・唐崎ノートルダム祈りの家で

二泊内観。参加費は2万円

了 ■2008年3月25日(火)午後1時から
27日(木)午後4時まで

■2008年9月23日(火)午後1時から
25日(木)午後4時まで

★宝塚売布女子ご受難会修道院にて

一泊内観。参加費は1万円

了 ■2008年4月26日(土)午後2時から
27日(日)午後4時まで

★内観経験者の集い(関東)

- 2008年4月20日(日)・10月5日(日)
- 聖母訪問会・三浦修道院にて
- 連絡：高階 dhk-ichiro@y7.dion.ne.jp

★ブラリと訪れ、静かな時間・内観したい人に

- 長野県下伊那郡大鹿村 小倉家
- 電話0265・39・2778

●問い合わせ

■唐崎修道院シスター桂川・安井
電話 077-579-7580
ファックス 077-579-3804

■内観瞑想センター藤原
ファックス 072-802-5026



「聖霊による祈り」

祈りの集い（午前 10 時～午後 2 : 30 時）

- 了 1月 10日 イエスは神の霊が鳩のように御自分の上に降
って来るのを御覧になった』
イエス様の洗礼、その弟子であるわたしたち
の洗礼の時受ける聖霊
- 了 2月 14日 『初めに...神の霊が水の面を動いていた』：創
造主である聖霊
- 3月 休み
- 了 4月 10日 『預言者を通して語られた聖霊』
- 了 5月 8日 使徒の上を下って来た聖霊
- 6月 12日 『賜物である聖霊を受けなさい』：堅信の秘蹟
で受ける聖霊
- 7月 10日 『エピクレシス』：ミサでの聖霊の働き
- 8月 休み
- 9月 11日 聖霊による生活：ローマ5、9-39
- 10月 9日 『聖霊の実り』
- 11月 13日 聖霊による祈り
- 12月 11日 霊と花嫁とが言う：『主よ、来てください』

指導者：

フランコ・ソットコロノラ神父（真命山院長）

申し込み先

〒 865-0133

熊本県玉名郡和水町蜻浦 1391-7

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎ 0968-85-3100; Fax 0968-85-3186

e-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

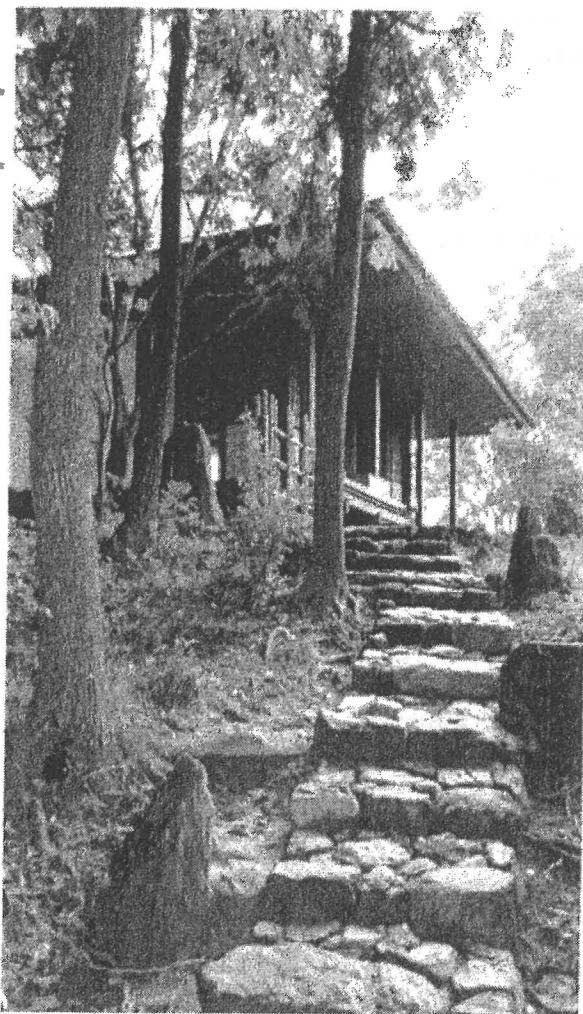
※個人またはグループでの黙想会や研修会も歓迎

いたします。（要予約）

真命山

諸宗教対話・霊性交流センター

真命山の霊性



自然

神はすべてを作り
人の手に委ねられた

陽の昇るところから
陽の沈むところまで

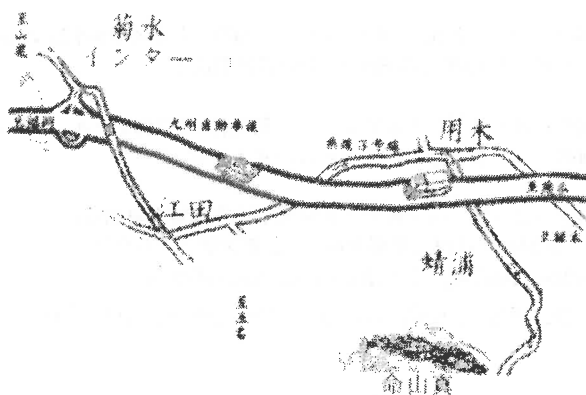
祈り

静けさ

沈黙の中に神の
言葉を聞こう

信仰体験を
分かち

交わり



リーゼンフーバー神父 講座・集い 案内

2008～2009年

キリスト教
入門講座

金曜日 18時45分～20時30分 聖イグナチオ教会信徒会館3階アルベホール
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

キリスト教
理解講座

毎月第1・第3・第5火曜日 18時45分～20時30分 聖イグナチオ教会信徒会館3階アルベホール
キリスト教の基礎知識を持っている方。2年間のコース。
信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探究します。

聖書研究会

木曜日 12時45分～13時25分 上智大学7号館316号研究室
学生のどなたでも。新約聖書を1章ずつ読んで勉強します。

坐禅会

●月曜日 17時20分～20時10分
●木曜日 18時～20時30分
上智大学内クルトウルハイム1階左の部屋。祝日を除く。
3回坐り、間に講話があります。
どなたでもどうぞ。初心者も歓迎です。遅刻、不定期の参加も可。

接心

● 4月28日(月)20時30分～5月5日(月)13時
6月20日(金)20時30分～22日(日)13時 } 秋川神冥窟。1泊2400円程度。
8月9日(土)20時30分～16日(土)7時30分
10月29日(水)20時30分～11月3日(月)13時
2009年2月21日(土)8時30分～22日(日)15時30分 } 上石神井。5400円程度。
● 5月31日(土)13時～6月1日(日)16時 } 宝塚市
8月1日(金)17時30分～7日(木)13時

ミサ

水曜日 17時10分～18時 上智大学内クルトウルハイム1階右小聖堂
どなたでも。(4月30日、8月全休、祝日は休み)

黙想

●「会社帰りの黙想」毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時 聖イグナチオ教会マリア聖堂
どなたでも。但し祝日、8月12日は休み。8月26日は上智大学内クルトウルハイム聖堂。
12月25日(木)はクリスマスの黙想(予定)。
●水曜日 18時～18時30分 上智大学内クルトウルハイム1階右小聖堂
どなたでも。(4月30日、8月全休、祝日は休み)
●通う霊操 8月23日(土)～8月31日(日) 18時～20時45分 上智大学内クルトウルハイム聖堂

祈りの集い

●下記の土曜日 13時30分～16時 上智大学内S.J.ハウス第5会議室
講話、黙想、ミサがあります。
4月12日、5月16日、6月7日、7月12日、8月9日、9月6日、10月11日、11月8日、12月13日、
2009年1月10日、2月7日、3月14日
●ロザリオの祈り 同日16時10分～16時50分 上智大学内クルトウルハイム1階右小聖堂

黙想会

6月14日(土)10時～15日(日)15時、9月13日(土)10時～15日(月)14時、12月6日(土)10時～7日(日)15時(東村山)、2009年1月31日(土)10時～2月1日(日)15時、上石神井。1泊5400-5600円程度。

アガベ会

下記の日、説明会(13時30分)と集い、ミサ(14時～18時) 上智大学内S.J.ハウス第5会議室
4月19日(土)、6月28日(土)、10月12日(日)、2009年1月25日(日)

クリスマス会

12月20日(土) 16時30分聖イグナチオ教会マリア聖堂、18時岐部ホール。要申し込み。

クリスマスのミサ

12月23日(火) 14時～ 上智大学内クルトウルハイム聖堂

問い合わせ・
連絡先

クラウス・リーゼンフーバー神父(上智大学文学部哲学科教授)
〒102-8571 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J.ハウス
電話 03-3238-5124(直通)、5111(伝言)、FAX 03-3238-5056
http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/index.html

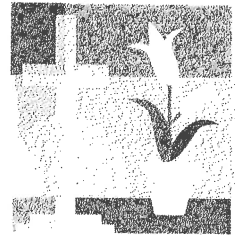


リーゼンフーバー神父キリスト教入門講座 2008年～2009年

日 時 毎週金曜日 18時45分～20時30分
場 所 聖イグナチオ教会（四谷駅前）信徒会館3階アルペホール
電 話 03-3263-4584

各回のテーマ

- 5/30 新約聖書の神理解—主なる父
- 6/6 祈りによる神理解—神の偉大さと近さ
- 6/13 救い主の役割—人類の待望
- 6/14-15 黙想会
- 6/20 神の国—イエスの告げるメッセージ
- 6/27 イエスの生き方—神に遣わされて人に仕える
- 7/4 イエスの人間関係—罪人と弟子と共に



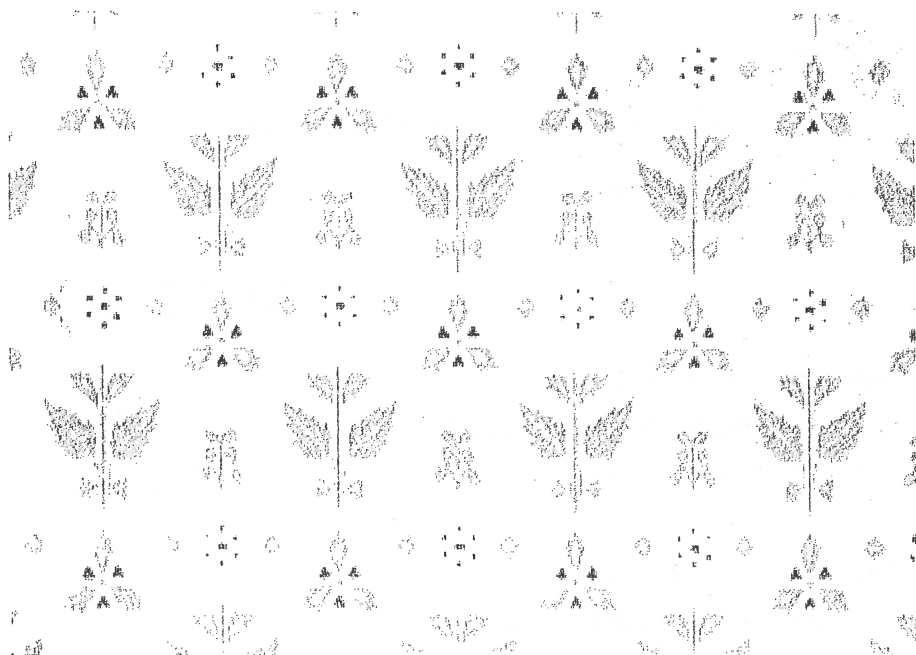
リーゼンフーバー神父キリスト教理解講座 2008年～2009年

日 時 第1・3・5火曜日 18時45分～20時30分
場 所 聖イグナチオ教会（四谷駅前）信徒会館3階アルペホール
電 話 03-3263-4584

各回のテーマ

- 6/3 自由意志と時間—歴史における意識
- 6/14～15 黙想会
- 6/17 [神] 無限への問い—理性による神理解
- 7/1 世界の根源—神存在の確認
- 7/15 人格の目標—神経験の多様な形
- 7/26 感謝のミサ（15時、上智大学内クルトゥルハイム2階）

祈りの集いのご案内



1 日黙想会

—イエスのみ心を味わう—

- 講 話 : 英 隆一朗師(イエズス会)
日 時 : 2008年6月15日(日) 10:00~4:00
対 象 : 20代30代の未婚女性
参加費 : 1000円 申し込み:6月14日(土)まで

問い合わせ・申し込み

〒182-0034 東京都調布市下石原3-55-1

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院(担当: Sr.山本 Sr.池田)

京王線調布駅下車徒歩13分(鶴川街道沿いマルガリタ幼稚園隣)

TEL: 0424-82-2012 FAX: 0424-82-2163

E-mail: prayer3551cnd@hotmail.com

URL: www.cnd-m.com

いのちの泉へ

すべての人のための祈りの集い

カルメルの霊性に学びつつ、キリスト者としての霊性を
養うための講話と沈黙の祈りで構成された集いです。

カルメルの霊性を、より深めたい方のグループと、
若い方、基礎的な信仰を学びたい方のグループがあります

2008年6月28日(土)

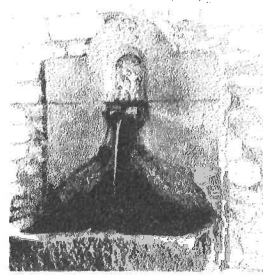
講話 伊従信子・片山はるひ

* 次回の予定 2008年10月18日(土) *

午後2時より 講話・祈り・分かち合い

午後5時半 主日のミサ(参加自由です)

参加費 200円



お申し込み・問い合わせ

ノートルダム・ド・ヴィ

〒177-0044 練馬区上石神井4-32-35

TEL(03)3594-2247 FAX(03)3594-2254

e-mail jndv-jp@r2.dion.ne.jp

カルメル会の霊性を受け継ぐ ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会) は、
現代社会のあらゆる場で社会人として働きながら、神への全き奉獻を通して、
祈りと活動の一致を生きることを、その精神・理想としています。

ノートルダム教育修道女会 唐崎修道院

◎ 所在地： 〒520-0106 滋賀県 大津市 唐崎 1丁目 3-1
Tel： 077-579-7580
Fax： 077-579-3804
Eメール： karainorind92@mbe.nifty.com

◎ 交通： JR 京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車。
琵琶湖の方へ徒歩 約 13 分

◎ 日程：

A. 8日間の個人指導による黙想

- 了 ① 2007年12月27日(木)～2008年1月4日(金)
② 2008年 7月22日(火)～7月30日(水)
③ 8月16日(土)～8月24日(日)
④ 9月1日(月)～9月9日(火)
⑤ 10月18日(土)～10月26日(日)

初日は、17時のミサで始まり、最終日は昼食で終わります。

B. 祈りの体験：週末3日間（金曜日の夕食～日曜日の昼食）

【神との親しさの中で日常を生きるために】

- 了 ⑥ 2008年1月18日(金)～1月20日(日)
了 ⑦ 2月22日(金)～2月24日(日)
了 ⑧ 4月11日(金)～4月13日(日)
了 ⑨ 5月9日(金)～5月11日(日)
⑩ 6月27日(金)～6月29日(日)
⑪ 9月5日(金)～9月7日(日)
⑫ 10月3日(金)～10月5日(日)
⑬ 10月10日(金)～10月12日(日)
⑭ 10月24日(金)～10月26日(日)
⑮ 11月7日(金)～11月9日(日)

他の黙想会が行われている場合があります。

C. 自己発見から神へ I 【講話と実習】

了 ⑯ 2008年2月22日(金)～2月29日(金)

⑰ 10月1日(水)～10月8日(水)

この期間、個人黙想をなさりたい方は、ご相談ください。

D. 上記の日程以外の日、個人で黙想をなさりたい方は、
問い合わせてください。

◎ 対象：信徒、修道者、司祭、洗礼を受けていない方、どなたでも参加できます。

◎ 霊的同伴者： トニー・ブロードニヤック (マリノール宣教師) 安井 昌子 (ノートルダム教育修道女)
菊池 陽子 (ノートルダム教育修道女) 松本 佳子 (ノートルダム教育修道女)

◎ 申込み： 1) 名前 2) 住所 3) 電話番号 4) 希望日程(番号) を書いて
郵送、または、Faxで「黙想係」安井昌子 へ申し込んでください。
唐崎修道院への案内地図の必要な方は、その旨を書き添えて下さい。

いずれの場合も、10日前までに申し込んでください。 但し、それ以前に
満室になった場合は、次の機会にお願いすることがあります。

◎ その他： 受付(チェック・イン)は、いずれの場合も、初日の15時から16時45分まで。
問い合わせは、電話 または、Eメールを ご利用ください。



奥村一郎 Okumura Ichino・カルメル会司祭
 1923年生まれ。旧制高校時代より『正法眼蔵』に親しみ、中川宋淵老師に師事する。東京大学法学部、同大学文学部卒業後、カルメル会入会のため渡仏。帰国後は京都ノートルダム女子大学教授、聖母女学院短期大学学長、教皇庁諸宗教対話評議会顧問などを歴任。

深い信仰と豊かな霊性、
 そして透徹した知性が織り成す
 奥村神学の全貌。

祈りと思案の日々はときに私を新たな地平へと導く。カトリック修道者となつてなお続く禅との関わりや宗教対話の積み重ねが、やがて「関係の神学」として結実したことはその一つである。自己形成や修徳主義を基軸とする「個の霊性」の行き詰まりの中で、福音の原点である相互愛に基づき「関係の霊性」は日本文化とキリスト教など、その後の私の問題関心を深めてくれた。——著者による「刊行にあたって」より

奥村一郎選集

Okumura Ichino

全9巻 2007年3月刊行開始

オリエンツ宗教研究所
 定価各2,100円
 (本体2,000円)
 四六判上製平均240頁

奥村一郎選集 全9巻の構成

- 第1巻 慈悲と隣人愛
(解説)西村恵信
- 第2巻 多文化に生きる宗教
(解説)ヤン・ヴァン・ラフト
- 第3巻 日本の神学を求めて
(解説)小野寺功
- 第4巻 日本語とキリスト教
(解説)阿部伸麻呂
- 第5巻 現代人と宗教
(解説)鶴岡賀雄
- 第6巻 永遠のいのち
(解説)八木誠一
- 第7巻 カルメルの霊性
(解説)高園泰子
- 第8巻 神に向かう〈祈り〉
(解説)高橋重幸
- 第9巻 奉獻の道
(解説)宮本久雄

選集既刊本

第一巻 慈悲と隣人愛

《カトリックから禅へ/小事と瑣事/
禅とキリスト教における靈的修行》

解説：西村恵信

第三巻 日本の神学を求めて

《日本の神学/相互愛/「信じる」と
「愛する」/新しい掟》

解説：小野寺 功

奥村一郎選集



7
カルメルの靈性

第四巻 日本語とキリスト教

《日本人の心とその精神構造/「ことば」から「みことば」へ/
聖書と翻訳》 解説：阿部仲麻呂

第五巻 現代人と宗教 解説：鶴岡賀雄

《現代人とキリスト教/偶像の喪失/退屈/全人教育と真人教育》

第六巻 永遠の命

《嬰兒回帰/人間の栄光と悲惨/信仰と悲しみ/十字架の秘義/
人間と世界と神》 解説：八木誠一

第七巻 カルメルの靈性

《アビラのテレジア/十字架のヨハネ/小さきテレーズと東洋的
靈性》 解説：高園泰子

新刊紹介

K・リーゼンフーバー著

中世における理性と霊性

現代文化の世俗化が近代の合理論に由来することを顧みるならば、理性と信仰の本来の関わりを再検討するのは、今日の思想にとって切迫した課題であると言えよう。教父時代の思想を背景にして、本書は中世の豊かな霊性をその理性的基盤との関係で包括的に探り、超越への関わりを理性に固有な課題として発見するとともに、霊性を人間完成の理論と実践として根拠付ける。本書は、11世紀の初期スコラ学から盛期・後期のスコラ学と神秘思想を経て、15世紀のルネサンスに至る理性論と霊性の多様な形態を考察する。形而上学と自然学、倫理学と政治思想への反映までも解明することを通して、理性的理解と信仰に基づいた霊性の相互作用を中世思想の根源的な原動力として展開する。

今まで注目されていなかった哲学者も含め、中世の主要な思想家を主題とすることにより、本書は存在理解と自己認識、学問と信仰、神についての語りと言語の限界の緊張関係を論じるとともに、理解と信仰をめぐる現代人の問題意識に新しい視点を拓くものである。

知泉書館（東京） 670頁 9,500円+税

新刊紹介

イエスの渇き

小さきテレーズとマザー・テレサ

著者 ジャック・ゴティエ：カナダ人。詩人、神学者。オタワの聖パウロ大学教授

訳者 伊従 信子

頁数 180ページ

価格 1300円 (税込み価格 1365円)

女子パウロ会出版

● 内容紹介

テレーズとマザー・テレサを強く結んでいるものは、人々を愛したいとの熱烈な望み
イエスの渇きを潤すこと。

深く優しい主の愛にすべてをゆだねきるという「小さき道」を歩くこと、
孤独で見捨てられている最も貧しい人に愛をこめて仕えることで、
二人はそれぞれ、イエスの愛に応える。

世界中の人に敬愛され続ける二人の愛の道が、今、明らかに示された黙想書。



世界を駆ける愛
主の無限の愛を悟り、その愛にまったく自らをゆだねる人は
悲しいかな、ほんの少ししかいません。——テレーズ
イエスはあなたを愛したいと熱く望んでおられます。
あなたの愛に渇いておられるのです。——マザー・テレサ

女子パウロ会々定価(本体1,300円+税)

リジューの聖テレーズ布教事業の保護者宣言80周年

記念御絵



* ご絵は、カルメル会上野毛修道院で取り扱っています。

A. 6cm×10.5cm (¥30)

B. ハガキ (¥100)

C. 25.5cm×30.5cm (¥300)

上記の3種類のサイズがあります。ご希望の方は、FAXにて
サイズ別の枚数をご記入の上、お申込み下さい。

FAX: 03-3704-1764

投稿募集

テーマ：「キリスト教との最初の出会い」

仏教国である日本において、読者の皆さまがどのようにしてキリスト教に出会ったか、その最初のきっかけ、エピソードなどをB5で2枚前後に簡単にまとめ、送ってください。求道者の方々にも興味深いことと思われま

》 投稿規程 《

- * 締切り：原則的に毎月10まで
- * 原稿サイズ：B5 左右の余白20mm
- * 原稿はできる限り、ワープロかパソコンでお願いします。
- * E-mailでの投稿は、添付ファイルで、tokyo@carmel-monastery.jp宛にお願いいたします。
- * 「心の泉」のコーナーについては小題をつけて。
- * 「諸所の企画」のコーナーについては、
 - ① 主催するグループ名もしくは個人名を明記。
 - ② 活動内容。例えば、「黙想会」、「祈りの集い」等。
 - ③ 月間、あるいは年間の具体的計画。
 - ④ 連絡先等。
- * 寄稿連絡は、^{くのり}九里 彰神父宛にお願いいたします。i住所が変わります!

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会修道院
Tel(0774)32-7456 Fax(0774)32-7457

「カルメル霊性センター」のホームページ

YAHOOで「カルメル霊性センター」を検索してください!!

ホームページのアドレスは以下の通りです。

<http://www4.ocn.ne.jp/~carmel>

召命黙想会

土の器の中の宝

—弱さの中の恵み—

すると主は、「わたしの恵みは
あなたに十分である。力は弱さの
中でこそ十分に発揮されるのだ」
と言われました。(Ⅱコリント12. 9)



日時： 6月28日(土) 16時
～ 29日(日) 14時

場所： 聖テレジア修道院(黙想)
(東急大井町線 上野毛駅下車)

対象： 召命を考えている 独身の青年男女
指導： 中川博道神父・神学生
費用： 5000円
定員： 20名

参加をご希望の方は、ハガキ・
FAX・E-mailのいずれかで
住所・氏名・年齢・電話番号・
所属教会名をご記入いただき

6月21日(土)までに 下記宛
お申し込み下さい。(必着)

お問い合わせ 及び お申し込み先

158-0093 世田谷区上野毛2-14-25 カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)
TEL 03-5706-7355 FAX 03-3704-1764

E-mail: mokusou@carmel-monastery.jp

フォコラーレの夏のつどい

マリアポリ

今年も「マリアポリ」が自然豊かな富士山麓の山中湖畔で行われます。

「みなで大きな一つの家族」をテーマに、

心身ともにリフレッシュするひとときをご一緒に過ごしませんか？

と き：2008年7月18日(金) 19時受付 20時プログラム
～ 7月21日(月・祝) 昼食後 解散 (部分参加も可)

ところ：とうしょうかん東照館 山梨県南都留郡山中湖村平野210 TEL：0555 (65) 8750

問い合わせ・申し込み：

男子フォコラーレセンター：

〒168-0071 杉並区高井戸西1-11-4 Email：mariapolijapan@gmail.com
TEL：03 (5370) 6424 FAX：03 (5370) 3055

女子フォコラーレセンター：

〒158-0094 世田谷区玉川4-20-22 Email：tokyofocfem@ybb.ne.jp
TEL：03 (3707) 4018 FAX：03 (3707) 4019

<http://www.geocities.jp/focolarejapan/focolaresito/>

マリアポリとは：

「マリア様の町」の意味。フォコラーレ発祥の地、北イタリアで1949年に夏の休暇を利用して人々が集い、福音の相互愛を生きる日々を過ごしたのが始まりです。今では世界各地で行われている「マリアポリ」は、どなたにでもご参加いただける集いです。

2008年 マリアポリ

参加費：大人 24,000円 学生 19,000円
 小・中学生 16,000円 幼児（3才以上） 9,500円

* 7月8日(火)までに内金2000円を添え、フオコラーセンターまでお申し込みください。
 * プログラムの中で、希望者にはスポーツ（テニス・卓球など）のひとつも予定されています。ご希望の方は歩きやすい靴や道具などをご準備ください。

① 新宿から高速バスで：

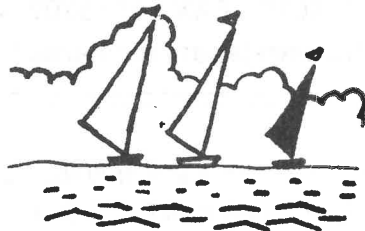
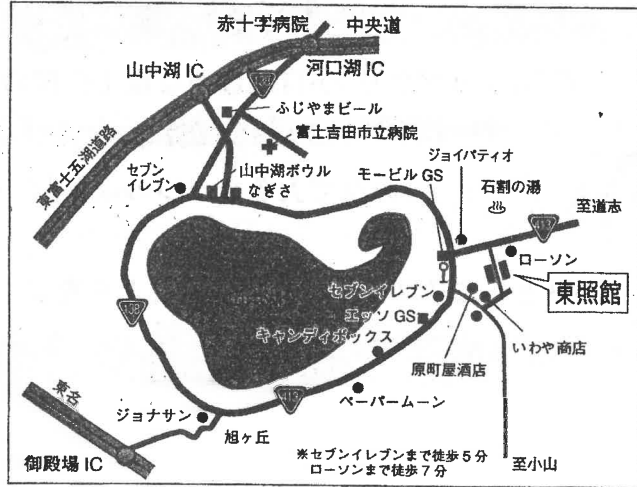
新宿→山中湖 I.C.→山中湖 → 平野
 (約140分)

- ・京王予約センター：03 (5376) 2222
- ・富士急予約センター：0555 (72) 5111

② 新宿から電車で：

新宿駅 (JR中央線120分)
 →大月駅 (富士急行50分)
 →富士吉田駅 (バス35分) → 平野
 (バス停「平野」より徒歩5分)

* 駐車場もあります。



『靈性センターニュース』ご希望の方

下記まで、郵送ご希望の月数分×220円を現金で送ってください。(これは郵送料です。)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25 カルメル会上野毛修道院
「靈性センターニュース事務局」

「上野毛靈性センター」への献金のお願い

なお「靈性センターニュース」は現在、上野毛靈性センターで編集、印刷、製本、発送等の仕事しております。ご希望の方へ無料で配付しておりますが、コピー代、紙代、印刷代等、諸経費はすべてカルメル修道会が負担しております。読者のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

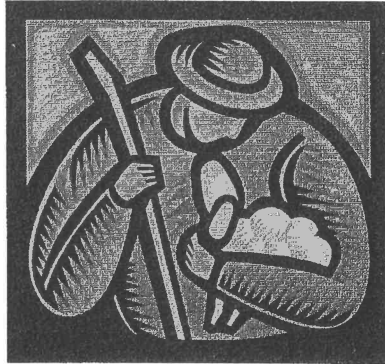
* 献金される方は、下記の口座へお振込みください。

郵便番号口座：00110-4-297250

加入者名：カルメル靈性センターニュース

通信欄に「靈性センターニュースへの献金」とご記入ください。

* なお上野毛教会聖堂の祭壇左側の献金口や、信徒会館の「カルメル図書コーナー」の献金口に、直接、献金して下さっても結構です。献金袋は用意されております。



編集後記

ミャンマーでサイクロンの大被害があったと思ったら、中国で何万人もの死者がでる大地震が起こった。国境を越えて、惨禍の中にあるアジアの兄弟姉妹たちに手を差し伸べることは、人間であれば当然の行為だが、とりわけ私たちキリスト者には、そのことが強く求められているように思われる。「よきサマリア人」のたとえの祭司やレビ人のように、半死半生の同朋のそばを、見て見ぬふりをして通り過ぎることのないようにしたいものである。

私の兄弟たち、自分は信仰を持っているという者がいても、行いが伴わなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼を救うことができるでしょうか。もし、兄弟あるいは姉妹が、着る物もなく、その日の食べ物にも事欠いている時、…言うだけで、…必要なものを何一つ与えないなら、何の役に立つでしょう。信仰もこれと同じです。行いを伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです(ヤコ2:14-17)。

